

地域のふれあい ご近所のチカラ

～自治会・町内会に加入しましょう～

問／地域づくり支援課 内2252 ☎463-2645

自治会・町内会とは、安全で快適な住みよい豊かなまちづくりをめざし、同じ地域に住む人たちが助けあって暮らしていこう、との考え方に基づいた自主的な任意の団体です。

各町内会によって、活動内容はさまざまですが、日頃のおつきあいは、災害時には大きな助けとなります。ご承知のとおり、東日本大震災後は、地域によるコミュニティが大きく見直されました。平成7年の阪神淡路大震災では、倒壊した家屋のがれきの下から救出したのは約8割が地域住民によるものとの報告もあります。

「いざ」というとき、ご近所さんが「ここの家には、〇〇さんがいます」と知っているだけでも、大きなチカラとなります。

ぜひ皆さん、自治会・町内会に加入しましょう。

町内会活動(例)



広報・回覧板配布



防犯灯設置・管理
防犯活動



レクリエーション
(もちつき・夏祭りなど)



美化活動



町内会館運営

※町会費はこのような事業に使われています。ただし活動は各町内会により異なります。

町内会レポート ☆膝折宿町内会☆

枠組みを超えた地域づくり ～膝折宿町内会・夏祭りの挑戦～

平成24年8月25日(土)、膝折宿町内会で行われた夏祭りは地域の活性化を図る新たな試金石となりました。

昨年の震災以降、町内活動・地域コミュニケーションの重要性が唱えられています。膝折宿町内会では膝折市民センター3階に町内会館を有することから、2階のひざおり児童館に対し「階下(2階児童館)で遊んでいる子は地域(ウチ)の子」のコンセプトをこの夏祭りの企画で提唱しました。

ひざおり児童館と子ども神輿受付等の連携をすると共に、朝霞第一中学校に協力を打診して、同校演劇部がクラブ活動の力を発揮し、ポスター挿絵作成・山車の装飾、広報車のアナウンステープ(声優)・子ども神輿のサポート・会場アナウンス・盆踊りの踊り子と多岐にわたる活動を行いました。

この日は、市内数か所で夏祭りが開催されていましたが、この「町内会」「児童館」「中学校演劇部」の三重奏が効果を発揮。中学生の広報車アナウンスや口コミ・友人同士のメールのやり取りによって、今までどちらかというと離れていた「中学生」も大勢参加し、来場者数で前年比約140%、盆踊りの輪・踊り子の人数は180%に達し、演劇部女子に促され盆踊りを踊る中学生男子の姿には町会役員の誰もが目をみはりました。

子ども神輿や夏祭りの参加＝町内会活動と直結するわけではありません。しかしながら、いざという事態の発生時、「全く知らぬ顔」と「お祭りのおじさん」では人間関係・信頼関係の密度が異なってきます。まして、子ども神輿には、防犯パトロール、地元消防団はじめ諸団体が関わっているのだから心強いがぎりです！

秋深き 隣は何を する人ぞ*

児童館に遊ぶ児童と児童館職員、中学校演劇部、地域住民、諸団体…夏祭りを通じ社会福祉協議会・中学校・町内会と枠組みを超えた協力体制を継続することで、お互いがお互いの顔を知る地域づくりを推進し、この句を元の解釈に戻していきたいものです。

※芭蕉の句…俳席(句を詠む会)に招かれた芭蕉が、体調を崩し欠席した際に、出席者の方々に送った一句。近頃は「隣は何をしているか知らないよ」といった反対の解釈をする場合もあるが、本来は、『秋の深まる夜は、なんと物寂しいことだろう…こんな夜、隣人は何をしているのだろうか』と人恋しく隣人の暮らしに想いをはせる意味です。



※自治会・町内会への加入については、お住まいの地域の自治会・町内会長までご連絡ください。連絡先が不明の場合は、地域づくり支援課までお問い合わせください。